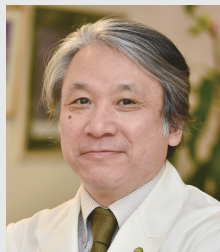


放射線科

スタッフ紹介



診療部長
やまだ けい
山田 恵
教授（H元）
画像診断

はやか かつみ 早川 克己 教授（特任）（S49） 画像診断	やすいけ まさし 安池 政志 助教 （H20） 画像診断
たけうち ぎん 竹内 義人 准教授 （H元） 画像診断/IVR	よしかわ まさし 吉川 達也 助教 （H21） 画像診断/IVR
すすき げん 鈴木 弦 准教授 （H7） 放射線治療	きもと たくや 木元 拓也 助教 （H22） 放射線治療
さかい こうじ 酒井 晃二 准教授（特任）（H3） 医用画像処理	あきやま しんぺい 秋山 新平 助教 （H23） 画像診断/核医学
ごとう まり 後藤 真理子 准教授（特任）（H13） 画像診断	あきやま たいせい 金山 大成 助教 （H23） 画像診断/核医学
あきさわけんたろう 赤澤 健太郎 講師 （H13） 画像診断	かわばた なこ 川畑 加奈子 助教 （H24） 放射線治療
ななべ けいた 渡邉 啓太 講師 （H19） 画像診断	ながさわ しんすけ 長澤 慎介 助教 （H25） 放射線治療
ひろた たつや 廣田 達哉 講師（学内）（H11） 画像診断/IVR	おかもと としゆき 岡本 敏幸 助教（任期付）（H26） 画像診断/IVR
たけなか せい 武中 正 助教 （S62） 放射線治療	かみかわ けん 河上 享平 助教 （H26） 画像診断
たかはた あきこ 高畑 暁子 助教 （H13） 画像診断	にしもと まさかず 西本 雅和 助教 （H26） 画像診断/IVR
おがた としゆき 尾方 俊至 助教 （H14） 放射線治療	よしゆき 吉野 祐樹 助教 （H26） 放射線治療
きよば まさき 喜馬 真希 助教 （H18） 画像診断/核医学	きたぐち ともあき 北口 知明 助教（任期付）（H27） 画像診断/IVR
こたに ともや 小谷 知也 助教 （H18） 画像診断/核医学	ふんた ぶんた 徳田 文太 助教（任期付）（H27） 画像診断
やまだ きちみ 山田 幸美 助教 （H18） 画像診断/核医学	とくだ かしかわ 梶川 智博 助教 （H29） 放射線治療
あいべ のりひろ 相部 則博 助教 （H19） 放射線治療	まさい のりひさ 正井 範尚 助教（任期付）（H6） 放射線治療
ますい こうじ 増井 浩二 助教 （H20） 放射線治療	

私たちの業務

◆ 多種多様な腫瘍が対象

放射線治療は全身のあらゆる部位に用いられ、ほぼ全診療科に渡る非常に多種多様な腫瘍性疾患を対象としています。治療目的、治療期間、併用療法なども様々で、副作用の内容や程度も個々の患者様で非常に違いがあります。多くの場合は外来通院による治療が可能です。患者様の状態次第、あるいは化学療法併用時など治療内容次第では入院が必要となる場合もあります。なお、入院が必要な場合は原発巣などに応じて適切な各診療科にお願いしてください。永守記念最先端がん治療研究センターでは、2019年4月から陽子線によるがん治療を開始しております。

◆ 患者様へやさしく低侵襲治療

針先程度の小さな傷跡のみで、局所麻酔で行う、IVR（画像誘導下治療）と呼ばれる技術を用いた検査・治療を行っています。対象となる疾患は、肝臓や腎、膀胱、頭頸部などの腫瘍性病変、門脈圧亢進症、静脈奇形などの血管奇形や内臓動脈瘤、透析シャント不全など多岐に渡っています。また、疾患によっては手術と同等の治療効果が得られることがあります。「手術を勧められたけど、もっと侵襲の少ない治療がないだろうか?」といわれる患者様もご紹介ください。

◆ 生理機能の画像化と特異的治療

PET/CTも含めた癌の転移検索や脳血流量の測定、心機能測定など各種核医学診断を行うことができ、他施設からの検査依頼を受けています。また、RIを用いた治療が可能な特殊病舎を有しており、甲状腺機能亢進症や甲状腺癌の転移巣、転移性骨腫瘍などに対する治療が可能です。

◆ CT、MRI、核医学などの画像診断による正確な病巣描出と早期発見

画像が現代の医学に果たす役割は重大であり、その比重も年々増えています。当科では従来のレントゲン写真に加えてコンピュータ断層画像(CT)や磁気共鳴画像(MRI)を駆使して診療に必要な画像情報を取得し、これらに診断レポートを作成し依頼医に届けています。また各診療科との合同カンファレンスへ出席し画像に関するコンサルティングを行っています。このように放射線画像を通して、病院の中央部門として医療の質の担保と向上に貢献しています。

外来診療担当医師予定表

令和8年7月1日現在

	月	火	水	木	金
初診・再診 (IVR以外は放射線治療)	長澤・鈴木	IVR：廣田 増井	長澤・増井	IVR：廣田・岡本 川畑	増井・鈴木
永守がんセンター	相部・木元	相部・川畑	相部・木元	木元	相部・木元

実際の診療

病名・病態	必要な診療	当科の対応
●放射線治療 脳腫瘍 頭頸部腫瘍 食道癌 乳癌 肺癌 前立腺癌 各種転移性腫瘍 癌性疼痛・骨転移 脊椎転移に伴う麻痺	手術、補助的放射線治療、化学療法、放射線単独療法 手術、化学療法併用ないし放射線単独療法 手術、化学放射線療法、放射線治療単独 術後放射線療法、各種転移部位に対する放射線治療 放射線治療、化学療法併用 確定診断、内分泌療法 手術又は放射線治療（外照射及び組織内照射） 病状に応じた検査、治療 MRI検査、薬物療法、放射線治療	当院脳神経外科からの紹介、諸検査の上治療をします。 当院耳鼻科からの紹介、耳鼻科との綿密な連携で治療に当たります。 消化器内科・外科との連携により、放射線治療単独のほか、適宜化学療法や手術を併用して治療します。 乳腺外科からの紹介、治療をします。 当院呼吸器内科からの紹介、治療をします。 当院泌尿器科を通して紹介。CT画像を元にコンピュータ計算した綿密な治療計画で治療します。早期癌では組織内照射（ヨードシーズ療法）の適応になることもあります。 外来経由で検査、必要に応じた治療をします。外来経由で検査・治療をします。緊急対応も受け付けます。また、外来通院の場合に、通院の負担を軽減するため1～数回の短期間治療とする場合もあります。
●IVR（画像誘導下治療） 肝腫瘍（肝細胞癌、肝転移） 各種悪性腫瘍 門脈圧亢進症（肝性脳症や食道胃静脈瘤など） 血管奇形、内臓動脈瘤 透析シャント不全 各種検査	経皮的エタノール注入療法、経皮的ラジオ波凝固療法、選択的肝動脈化学塞栓術、リザーバー動注化学療法 腎癌に対するCTガイド下凍結療法、膀胱癌や頭頸部癌に対する選択的動注療法、多血性腫瘍に対する選択的動脈塞栓術、埋め込み型中心静脈カテーテル留置（抜去） バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓療法（BRTO）、経皮経肝門脈塞栓術（PTO）、部分的脾動脈塞栓術（PSE）など 静脈奇形に対する硬化療法、動静脈瘤/奇形に対する塞栓術、内臓動脈瘤に対する塞栓術 経皮的血管拡張術、ステント留置術 CTガイド下生検（肺、縦隔、腹部臓器、骨など）、副腎静脈サンプリングなど	放射線科入院の場合は、火曜日IVR外来（廣田）を受診していただき、適応や手技の内容についてご説明させていただきます。入院後に手技を行います。 また、当該疾患の診療科の管理が必要な場合は、当院の当該科経由で紹介を頂き、入院後に必要なIVRを行います。
●アイソトープ治療 甲状腺機能亢進症 甲状腺癌 転移性骨腫瘍	血液検査、薬物療法、RI治療 画像診断、血液検査、手術、RI治療 画像診断、血液検査、放射線治療、RI治療	外来もしくは入院にてRI治療を行います。 外来経由で検査、入院にてRI治療を行います。 外来にてRI治療を行います。
●画像診断 画像診断を要する各種疾患	CT、MRI、単純写真、核医学	迅速な撮像と的確な診断レポートを作成します。

府立医大 放射線科 医局

TEL 075-251-5620 FAX 075-251-5840

URL <http://www.h.kpu-m.ac.jp/doc/departments/clinical-departments/radiology.html>

救急対応 放射線科外来 TEL 075-251-5895（外来時間帯）

救 急 外 来 TEL 075-251-5645・5646